

学校関係者評価委員会報告

日 時 : 令和3年5月19日(水) 14:00~15:30

会 場 : 熊本デザイン専門学校 501 教室

出席者 : 評価委員 (8名)

西山 喬 様	(くまもとファッション協会 副会長)
有田 満里子 様	(有限会社有田 代表取締役社長)
川口 滋 様	(くまもとデザイン協議会 会長)
田中 千秋 様	(株式会社放送技研 代表取締役)
島村 徹 様	(一般社団法人熊本県建築士事務所協会)
城本 信佐 様	(熊本学園大学付属高等学校 副校長)
池田 明美 様	(在校生保護者)
内村 友造 様	(同窓会会長)

学校側出席者 (9名)

真開 純洋	(学校長)
徳村 尚晃	(事務局長)
高峯 英幸	(統括部長)
千田 浩一	(教務部長)
松本 雪	(ファッションデザイン科 主任)
児玉 竜也	(グラフィックデザイン科 主任)
石本 信二	(入学相談室 室長)
藤本 翔太	(キャリア支援室)
平野 恵子	(書記)

議事

◇校長挨拶

開会にあたり校長より挨拶を行った。

◇評価委員並びに学校側出席者自己紹介

教務部長より、それぞれ出席者の紹介を行った。

◇学校概要説明 (千田教務部長)

- ①沿革の概要
- ②各学科学生数構成
- ③学生募集の状況
- ④就職状況

◇自己評価結果報告

千田教務部長より、以下について説明を行う。

1.教育理念,目標

- ① 教育理念・目標・育成人材像

- ② 各学科・コースの目標実現に向けた、単年度ごとの現状分析・検証と年度目標の策定
- ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想と中期構想
- ④ 教育理念・目標・育成人材像・特色等についての保護者への周知

2.学校運営

- ① 運営方針、運営組織、各種諸規定等の作成と教職員への明示、浸透について
- ② 運営方針に沿った教育計画の策定
- ③ 公務分掌の組織の機能と効率について
- ④ 意思決定システムの確立について
- ⑤ 教務会議における各学科目標と進捗、学生状況、就職状況等の把握と検証の機能
- ⑥ 必要に応じた各種委員会や全体協議の適宜開催について
- ⑦ 人材育成目標達成に向けた授業展開要件を備えた教員の確保について
- ⑧ 関連分野における業界連携を通じた優秀人材の確保とマネジメント
- ⑨ 先端的な技術修得、指導力育成等の資質向上に向けた研修の取り組み
- ⑩ 教職員合同研修における意見交換、講話を通しての資質向上について
- ⑪ 人事・給与に関する規定等の整備
- ⑫ 教育活動等に関する情報公開 について
- ⑬ 情報システム等による業務の効率化

3.教育活動

- ① 教育理念、各学科ごとの教育目標に沿った教育課程の編成
- ② 業界が求める人材ニーズに向けた人材育成像について
- ③ 関連分野の企業・業界等との連携によるカリキュラムの作成、見直しについて
- ④ 関連分野における実践的な職業教育の体系的な位置付け
- ⑤ 授業評価の実施と評価体制
- ⑥ 学生の知的好奇心に応える授業や分かる授業の実践への取り組み
- ⑦ 職業教育について、外部関係者からの評価を反映しているか
- ⑧ 成績評価、単位認定、進級・卒業判定基準の明確化
- ⑨ 資格取得等に関する指導体制とカリキュラムの中での体系的な位置付け
- ⑩ 教育活動を通じた人権尊重の精神に立つ教育実践

4.学修成果

- ① 就職率の向上について
- ② 資格取得率について
- ③ 退学率の低減について
- ④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価

5.学生支援

- ① 就職に関する支援体制について
- ② 学生相談に関する体制について

- ③ 学生に対する経済的な支援体制の整備
- ④ 学生健康管理に関して
- ⑤ 課外活動について
- ⑥ 親元を離れている学生の生活環境への支援体制
- ⑦ 保護者との連携について
- ⑧ 卒業生への支援体制と同窓会との連携

6. 教育環境

- ① 施設・設備の整備
- ② 学外実習、インターンシップ、国内研修、海外研修等の教育効果と危機管理体制について
- ③ 防災に対する体制について

7. 学生の受入れ募集

- ① 学生募集活動について
- ② 学生募集活動時における教育成果の情報共有について
- ③ 入試について
- ④ 学納金について

8. 財務

- ① 中長期的に見た財務基盤の安定について
- ② 予算・収支計画について
- ③ 財務について
- ④ 財務情報公開体制について

9. 法令等の遵守

- ① 法令遵守について
- ② 個人情報保護について
- ③ 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善について
- ④ 自己点検・自己評価結果の公開について

委員の意見等

1. 教育理念, 目標

- 学校の教育理念・育成人材像等について、保護者への周知は直接が一番いいが一つの手段として、アプリなどを活用して周知する方法も併用を検討されたい。
- 社会経済のニーズを把握することは、今は非常に難しく、コロナ禍の中で業界が求める人材像も変わってきている。職業観や人生観をしっかりと育むことが学校に求められるのではないか。
- 中期構想について、職員全体で話し合う機会を作ってはどうか。
- 社会のニーズを意識しなければ就職率の向上は難しい。教員自らが社会と積極的につながるよう、活動してほしい。
- ホームページのリニューアルはとても大きい。非常に見やすくなったと思う。
- AIにできないのはデザイン。これからもっと学生数は増えると思う。

<今後の改善、方針等>

- コロナの禍中で保護者会などを行うことができず、周知の機会を失った。保護者会だけではなく、どのような機会で行うか、もう一度考え直す必要がある。緊急時の学内連絡手段として、「KDC 学内連絡」がHP上にあるが、学校通信や日常の学校生活などを知らせるツールの設置も考えていきたい。
- 主任以上の職員において「学校活性化委員会」がもたれ、将来構想などについて話し合っているが、この動きを職員全体に広げていきたい。
- コロナの影響で業界の動きが変わって来ている。尚且つ、地元志向も強くなり、保護者の要望も多くなって来ている。目先に捉われない、長期的な将来設計を見据えての指導を行っていきたい。

2,学校運営

- 教務会議を筆頭に、各種の会議はその役割を十分意識したうえで開催されることが重要だと思う。
- 教職員の研修等は、定期的に行われているか。
- 情報システム等による業務の効率化は図られているか。
- 人事・給与規定は適切なものとなっているか。

<今後の改善、方針等>

- 職員会議の場においての発言が偏っている傾向がみられる。協議の場として職員の積極的な発言等が促進されるようにしなければならないと感じている。
- コロナの影響により県外での研修等の機会が減少し、Webでの研修に振り替えて対応してきた。今後、教職員としての専門知識・技能の向上だけではなく、指導力向上の為の研修も行っていきたい。
- 学生のデータベースを入学相談室、教務部、キャリア支援室と一元的に経過が追える（入学～卒業後）システムを作ることを検討していきたい。
- 給与規定はあるが、規定だけでは、人生設計の部分が見えづらい。規程だけでなくその先の指標が見えるように工夫していきたい。

3,教育活動

- 近年の就職活動はインターンシップへの参加が重要だと思う。現在どのような状況か。就職には繋がらないかもしれないが分野が違うインターンシップもデザイン学生には役に立つものだと思う。
- 業界が求める人材ニーズの把握、カリキュラム作成には、業界との連携は欠かせない。教育課程編成委員会だけでなく、多方面に連携強化を図って欲しい。

<今後の改善、方針等>

- 参加学生数の関係もあり、演習として企業に出向く機会は少ないが、キャリア支援室と連携し機会の確保に努めたい。また就職活動の一環としてのインターンシ

ップはかなり増えており、積極的に参加させている。

- 分野違いのインターンシップについては、過去に実施事例もあるが、学生の経験値を上げる取組みとして積極的に検討していきたい。
- 委員会等で、業界の方々との意見交換の場はあるが、それだけに留まらず、キャリア支援室と連携し、教職員が積極的に企業訪問できる機会創出に努めたい。

4,学修成果について

- 卒業後の追跡調査も必要だが、離職率や退職理由等を調査することも必要だと思う。学校として積極的に取組んでほしい。
- 卒業生で優秀な人材が社会で活躍している。学校として把握しPR活動にも活かして欲しい。

<今後の改善、方針等>

- 各担任が受け持った学生の把握はしているが、全職員での共有は出来ていない。音信不通となる卒業生もいる為、曖昧になっている部分があるのは否めない。同窓会との連携を密に図って改善していきたい。又、離職率、退職理由等は、今後の学生指導に有用と考えられるので、学校として統一した管理を行っていきたい。

5,学生支援

- コロナ禍で就職活動の状況が変わって来ている。しっかりとした支援体制を確立してほしい。

<今後の改善、方針等>

- 就職指導は、担任とキャリア支援室が連携して指導にあたっている。キャリア支援室の体制強化を図り、企業訪問、学生指導等に手厚い対応が出来るよう整えていきたい。

6,教育環境

- コロナ禍の中で、就職活動もweb上で会社説明会や面接をする企業が増えて来ている。ネット環境等の整備に努めてもらいたい。
- 自然災害なども増えてきている中で防災への意識向上や環境整備を行ってほしい。

<今後の改善、方針等>

- 実際に就職活動時の説明会や面接、グループディスカッション等もweb上で対応する企業が増えている。その為、学内で時間帯によっては重複してしまうケースがあるので、対応できるブース等の環境を整えられるよう検討したい。
- 毎年、防災訓練を行っているが、学校から避難場所迄が遠い為、近くの避難場所を再検討したい。

7,学生の受入れ募集

- 高校生や保護者、関係の先生方へ教育成果を伝えられるように、入学相談室と教務部の連携をもっと密にして欲しい。

<今後の改善、方針等>

- 今後、入学相談室と教務部で定期的に時期を定め、情報交換の場を設定し、より積極的なコミュニケーションを図って行きたい。

8,財務

- 外部への情報公開は、ホームページ上にて適切に行われていると思う。
- 財務状況や予算・収支計画について、職員に対してのより細かな情報提供が必要なのではないか。

<今後の改善、方針等>

- 財務状況等、情報公開が義務付けられている為、ホームページ上で公開しているが、全職員へ向けた報告は出来ていない為、会を設けて職員への報告を行い、その上で、職員が適正に評価できる体制を作って行きたい。

9,法令等の遵守について

- 個人情報の保護について、プライバシーポリシー等、定められて周知されているが、定期的な見直しも必要である。
- 自己評価結果については、ホームページ上で公開されている。評価方法についても毎年見直しで行われている。